

新年度初日は、
入所式からスタート。



施設長 貝沼 寿夫

じぶんごと

新しい職員・利用者さんを迎えて、新たな1年がスタートしました。まだまだコロナとはうまく付き合っていくしかありませんが、感染予防には注意を払いながら、少しでも楽しみや成長を感じられる年にしたいと思っています。

こぶし内でも、2月にコロナの猛威が振るい、皆さまにはご心配とご迷惑をお掛けいたしました。お陰様で、その後施設内での感染はなく、日常を取り戻しています。私もこれまでの経験の中で何度となくインフルエンザやノロウイルスの集団感染を経験してきましたが、それらとは比にならないほど感染のスピードが速く、対応が後手に回ってしまったと反省しています。

罹患された方々には大変申し訳ないのですが、今回のクラスターは悪いことばかりではありませんでした。沈みがちになりそうな気持ちの中、士気を上げるためにポスターを作成して、事務室に掲示してくれたり、日々厳しい勤務体制の中、嫌な顔一つせずに勤務変更に応じてくれたり、たくさんの方々から、温かいお言葉やご支援もいただきました。もちろん利用者さんも、制約のある中で様々な協力があり、ふとした優しさに触れる場面も何度もありました。

そんな中、私自身が1番感動したのが、地下倉庫にきちんと分けられ整然と並んでいる感染症対策の物品を目の前にした際です。きつと段ボールが山のようにあり、その中から必要な物を探すのは大変だなあと考

新たな取り組み

高齢対策課として、前年度から新たな取り組み「介護研修」を実施してきました。確実に進むこぶしの高齢化に伴い、支援者として介護の知識や技術を要すると考えています。

年間の研修計画を策定し、毎月のフロア会議で実技の研修を行いました。ほとんどの支援者が介護未経験であり、戸惑う様子をはじめはありました。しかし、回数を重ねるごとに、研修に取り組む姿勢や支援現場から積極性を感じるようになってきました。「こんな時はどうすればいい?」「こんな研修内容はどうか」「研修でやったことを練習したい」と、申し出てくれる支援者もいました。そんな意見も参考にしながら、こぶしの現状に合わせた研修内容を考えました。また、他課員とも協力をして、研修内容に沿った小テストを行い、研修で得た知識を再確認する場面を設定することも出来ました。

今年度も継続して実施し、「新たな取り組み」から、こぶしならではの「定着した取り組み」にしていきたいです。

生活支援員 吉井 友美

フォトニュース ～3月の様子～



施設入所の余暇では、おやつ会を実施。“蒸しチョコパンケーキ”を作って食べました☆
また、3月で退職した職員へ「今までありがとう」とお花などを渡しました。

失敗したっていいじゃない

毎年この時期は新年度に向かってどんな1年になるのかワクワクした気持ちと少し不安な気持ちが入り交ざります。今年度は私は、新たにサービス管理責任者の役職を頂きました。今までは生活支援員として、課長としての立場から思いを発信してきました。今後は立場や業務内容も異なり、今まで以上の責任とご利用者・職員との向き合い方を考えなくてはなりません。新年度が始まる前から大丈夫かな？と感じることが多く、不安が先行していました。今思えば、ワクワクよりも不安な気持ちのほうが勝っていたように思います。

3月中旬に新年度に向けて上司と面談する機会があり、そのなかで「失敗したっていいじゃない」と思いをお話していただきました。《初めては誰しも通る道であり失敗＝経験となる》《大事なことは周りの受け止め方。失敗した時に周りが責めないことでまたチャレンジしようと思えるよね》と教えていただきました。

「期待してないよ～」と笑っている上司の姿を見て、私の不安な様子を察知して緊張をほどいてくださったのだと感じた時に、ほっとした気持ちになり安心感が生まれました。

昇任が決まったとき不安でいっぱいだった私は、「どうしよう～」「無理だよ～」と自信のなさから消極的な言葉が頭の中いっぱいになっていました。そんなとき「一緒に頑張りましょう！」「私たちがピカピカなサビ管に磨き上げます！」と心強く背中を押して応援してくれた職員もたくさんいました。その時は感謝の気持ちよりも先行して「不安な気持ちが顔に出してしまっていたな。申し訳なかった…」と罪悪感がありました。しかし、上席から教えていただいたあと、【あの職員は不甲斐ない私のことも受け止めてくれたんだ！】と解釈が変わり心も軽くなりました。

今回の経験や上席から学んだ『失敗したっていいじゃない』の言葉を忘れずに、誰かがチャレンジしようとしているときには全力で応援し、例え失敗したとしても再チャレンジできるように、今度は私がその役割を担っていきたいと思います。

サービス管理責任者 新海 未姫



経験則を取り払う

1月中旬、施設の管理栄養士から栄養指導を受けました。要は、もう少し痩せましょうねという事です。その際、「まずはアプリで毎日の食事を記録してみると良いですよ。」とアドバイスがありました。何事も三日坊主の私は「きっと2週間も続かないな。」と思いましたが、とりあえずアプリをダウンロードして翌日から記録してみることに。

そして今現在、自身の予想を裏切り2カ月以上継続することができています。(体重が減少しているかはまた別の話ですが…)

新しいものに出会った時、人はこれまでの経験を基に予想を立てると思います。経験は大きな財産ですが、時にそれに囚われて「きっと今回も〇〇だろう」と後ろ向きに作用してしまうこともあります。しかし、思い切って試してみることで予想外の結果や、新たな気づきに出会うことがあるのではないのでしょうか。

私は仕事でもつい、「前に〇〇だったから」と考えてしまうことがありますが、今年度はそうした考えを取り払い、取り組む1年にしていきたいと思います。

事務員 落合 愛子



～法人本部へ異動になりました～

これまでありがとうございました。

<坂口 麻衣子>

長い間大変お世話になり、ありがとうございました。皆さまに助けられ、励まされながら多くの学びをさせて頂きました。支援者のサポート役として縁の下の力持ちになれるよう、引き続き【楽しくなくちゃ仕事じゃないっ！】の精神で前のめりに学び、そして仕事を楽しみたいと思います♪今後とも宜しくお願い致します。

<小松崎 希史子>

長きに渡り、こぶしで過ごすことが出来たのは皆様に支えて頂いたことに他なりません。感謝致します。これからは直接お会いする機会は減りますが、法人職員としてこぶしとも関わり、ここで過ごす利用者の方々や職員がより良い活動が出来るよう力を尽くして参ります。今後ともよろしくお願い致します。